



助け合い、 起し すざが

(村山町
上原ます子書)



こころもがらだもりフレッシュ！

▲山梨県川口湖畔の旅

P2 • 平成22年度社協決算

P3 • サマーチャレンジボランティア募集

• 義援金報告

P4~P5 • 社協50周年

日頃なかなか外出の機会が少ない皆さんとボランティアが協力して、6月4日（土）日帰りの旅に行ってきました。梅雨時にもかかわらず、すばらしい晴天に恵まれ、猿まわし劇場では、アイドルの“ビッグ”との握手に皆、大興奮！可愛らしい演技に癒される一日になりました。

2011 7



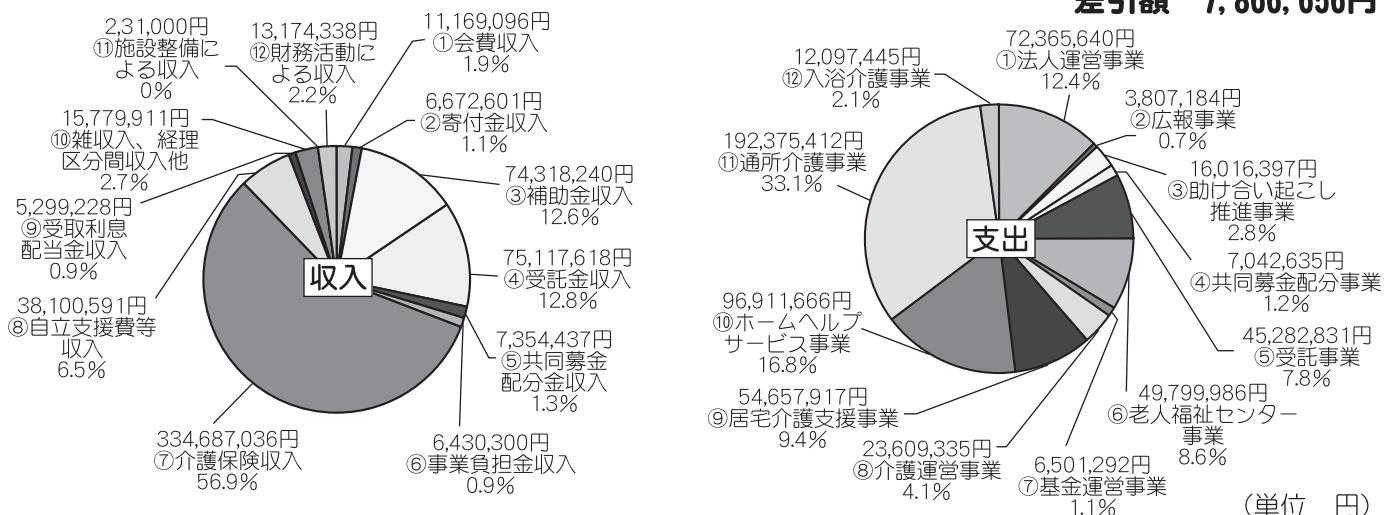
社協は社会福祉法第109条に規定された地域福祉を推進する団体です。

社協が実施する様々な福祉事業は、皆さまからの社協会費と共同募金が主な財源です。

再生紙を利用しています。

平成22年度須坂市社会福祉協議会決算の概要

収入 588,334,396円
支出 580,467,740円
差引額 7,866,656円



収 入	説 明
①会費収入	皆様からご協力をいただいた「社会福祉協議会の会費」です。
②寄付金収入	市民の皆様から頂戴しました寄付金です。
③補助金収入	須坂市からの補助金収入です。
④受託金収入	県・市から受けている各種事業、指定管理事業の収入です。
⑤共同募金配分金収入	22年度市民の皆様からご協力をいただいた、赤い羽根共同募金の配分金です。
⑥事業負担金収入	事業の参加・利用者負担金収入です。
⑦介護保険収入	介護保険事業の収入です。
⑧自立支援費等収入	障害者自立支援事業の収入です。
⑨受取利息配当金収入	各種基金の利息です。
⑩雑収入、経理区分間収入他	自動販売機手数料、保険事務手数料他、経理区分間の移動による収入です。
⑪施設整備による収入	車両入替により売却した収入です。
⑫財務活動による収入	退職金支払いのための返還金収入です。
計	

(単位 円)

支 出	説 明
①法人運営事業	本会を運営していくための人事費、事務・事業運営費等で支出しました。
②広報事業	毎月の広報紙の発行、「助け合い推進大会」の共催、社協ホームページ経費等として支出しました。
③助け合い起こし推進事業	「助け合い起こし」事業の推進、市民向けボランティア講座・災害ボランティア講座、小中学生ボランティア体験教室、心配ごと相談事業など地域福祉推進事業を実施しました。
④共同募金配分金事業	共同募金の配分金により、学校での福祉体験への支援、ボランティア団体福祉団体への活動支援、外出が難しい重度障害のある方の旅行など行いました。
⑤受託事業	低所得世帯への資金の貸付事業、配食サービス、移送サービス、介護保険に該当しない方々へのヘルパー派遣など、市などからの受託事業を実施しました。
⑥老人福祉センター事業	老人福祉センター「永楽荘」「くつろぎ荘」の運営、管理費として支出しました。
⑦基金運営事業	市内篤志家の方からの寄付により敬愛基金の増資を行いました。
⑧介護運営事業	介護事業の運営していくための人事費、事務・運営事業費として支出しました。
⑨居宅介護支援事業	ケアマネージャーが介護サービスの計画を作成する部門の経費として支出しました。
⑩ホームヘルプサービス事業	ホームヘルパーが訪問し、身体の介護、家事の援助をする部門の経費として支出しました。
⑪通所介護事業	デイサービスセンター「ぬくもり園」「ことぶき」「すえひろ」の3施設を運営する経費として支出しました。
⑫入浴介護事業	入浴車でご家庭を訪問し、入浴サービスを提供する部門の経費として支出しました。
計	



サマー・チャレンジボランティア
(ボランティア体験)

この夏にはじめの「いつ
は踏み出して「何かはじめ
てみよう」・「自分の出来
ること何かないかな…」と
思っているみなさん! あなた
たちの力を待っています。一
緒にボランティアはじめて
みませんか!



参加対象

高校生以上どなたでも。

専門学校生 大学生
社会人、主婦の方々。

ボランティアに関心のある

方。未経験者、経験者

主な体験

・高齢者施設や障害者施設

センターでの行事参加

・ボランティアグルー

の活動体験 （託児）

朗誦手帳

卷之三

2 +

280円（ボランティア保険代

申し込み

卷之三

三九〇

電話245-1619

長野県北部地震（糸村）義援金報告

向桜・里地を守る会 キタザワ美容室穀町区 ろつきん虹の会須坂支部支部長常川守 少年軟式野球サンズオブレオ 南原町区 みそ料理の会 焼酒井商会 キタザワ美容室 中島彰子アロマセラピープルメソニアイリス薬局 須坂東高校ウイングアンサンブル部その他匿名多数

義援金は日本赤十字社に送金され、各被災都道県ごとに設置される義援金配分委員会において個別の被災世帯ごとに配分されることになります。

長野県北部（栄村）地震

長野県北部地震義援金につきましては、栄村へ直接送金させていただきました（順不同・敬称略）

須坂病院友の会 須高広域シルバー人材センター その他匿名多数

災害ボランティア活動費助成	
社協で計画する災害ボランティアの派遣以外で、被災地で活動される方に活動費を助成しています。	原則として市内に居住する方や、市内に勤務されている方の5名以上のグループで各種団体の手段となりない活動です。
内容はボランティア保険代、ガソリン代、食費の補助、手袋、ヘルメットなどの貸し出し等	
第五次災害ボランティア 参加者募集	
日 時	7月20日（水）から 23日（土）
派遣先	岩手県山田町
参加費	（一部補助有）
食費実費負担	問い合わせ社協まで

3

須坂市社会福祉協議会 創立50周年を迎えることができました

先月号でも報告いたしましたが、須坂市社会福祉協議会は昭和36年5月15日発足し本年創立50年の節目の年を迎えることができました。

この間、社会福祉を取り巻く情勢は大きく変化してまいりましたが、本会の諸事業に対する市民の皆様の深いご理解とご協力により地域福祉の推進を進めることができます。

また、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる福祉社会の実現を願い、地域福祉活動計画「助け合い起こし」を策定し現在活動をしておりますが、今後も市民の皆様や団体、行政とも連携をしながら、地域福祉の推進に努めてまいりますので、一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

須坂市社会福祉協議会の50年のあゆみ

世の中の動向		西暦	須坂市社協の主な動き
サンフランシスコ講和条約（旧）日米安全保障条約締結	昭和26年	1951	郡内各町村の連合体による社会福祉協議会が発足する（社会事業協会を改名、各町村が協力して社会福祉の増進に寄与した）
ソ連有人宇宙衛星「地球は青かった」	昭和36年	1961	須坂市社会福祉協議会発足 (初代会長には山際順氏が就任)
「可愛いベイビー」「ステーラ節」が流行	昭和37年	1962	心配ごと相談業務 (日々生じている幾多の問題の相談を重要事業とした)
長野県松代で地震が発生 (翌年に松代群発地震と命名)	昭和40年	1965	広報紙「社協すざか」創刊 (当時は年2回発行、現在は「助け合い起こしすざか」として毎月発行)
日本の人口1億人突破	昭和42年	1967	全国社会福祉大会において表彰を受ける (東京都で両陛下ご臨席のもと社協の活動が優秀であるとして表彰される)
アポロ11号月面着陸	昭和44年	1969	老人家庭奉仕員制度発足 (現在のヘルパー制度、当時は4名のヘルパーが活動していました)
光化学スモッグ発生 仮面ライダー始まる	昭和46年	1971	東村と合併 (心配ごと相談所の充実をおこなった)
浅間山荘事件 札幌冬季オリンピック開催	昭和47年	1972	非常用ブザーの設置 (一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者宅へ緊急時の非常用ブザーを設置する)
プロ野球長島茂雄引退	昭和49年	1974	老人福祉センター「永楽荘」開所 (市民の皆様の寄付によりマイクロバスの購入)
口ッキード事件 田中前首相逮捕	昭和51年	1976	 「永楽荘」大広間完成 (市民からの広間増築の希望が出て、現在の100畳敷大広間が完成)
成田空港開港 日本テレビ「24時間テレビ」開始	昭和53年	1978	市内の寝たきり高齢者 男60人 女69人 一人暮らし高齢者 男24人 女118人
歌手山口百恵引退	昭和55年	1980	寝たきり老人入浴サービスの実施 (寿楽園の入浴施設へ老人家庭奉仕員が送迎して行うサービスが開始されました)
神戸ポートピア81 ピンクレディー解散	昭和56年	1981	須坂市ボランティア連絡協議会が結成 (25グループと関係機関や施設の代表が参加して結成)
ホテルニュージャパン火災 日航機逆噴射	昭和57年	1982	須坂市日赤奉仕団が結成 (前年の8月23日の仁礼宇原川土石流災害を契機に組織として各町に設置された)
チエルノブイリ原発事故	昭和61年	1986	社会福祉協議会の事務所移転 (馬場町の須坂市福祉会館の委託も兼ねて事務所を移転)

昭和天皇崩御	平成元年	1989	福祉のまちづくり「ボランティア事業」スタート (市民の参加による「福祉のまちづくり」運動がいつまでも続けられるようボランティア活動推進協議会設置された)
礼宮さま紀子さま結婚の儀	平成2年	1990	広報紙「社協すざか」毎月発行 社協内に「ボランティアセンター」を設置
皇太子さま雅子さま結婚の儀 Jリーグ開幕	平成5年	1993	一人暮らし老人安心コール事業開始 (電話による「声の訪問」を行い、安否の確認や孤独感の解消をねらいとするもの)
リレハンメル冬季オリンピック 羽田内閣発足	平成6年	1994	社協事務所移転 (市福祉会館(馬場町)から現在のNTT須坂支店跡へ事務所を移転)
地下鉄サリン事件	平成7年	1995	阪神淡路大震災 (社協に義援金窓口を設置 17,279,391円を義援金として日赤へ送る)
消費税5%スタート ダイアナ元妃交通事故死	平成9年	1997	日本財団よりリフト付車いす送迎車の贈呈を受ける (今後の外出事業や移送サービスの充実が期待される。) 老人センター「くつろぎ荘」開所 (現在の仁礼地区に二ヶ所目の老人センター)
長野冬季オリンピック	平成10年	1998	小中学生ボランティア体験教室開始 (小学生高学年、中学生が様々な体験を通し、人間性を育むことを目的に現在も開催)
プロ野球松坂大輔がデビュー	平成11年	1999	24時間ホームヘルプサービススタート (早朝、夜間、深夜のおむつ交換等巡回を1回20分程度として開始)
長野県知事 田中康夫 シドニーオリンピック開会	平成12年	2000	介護保険事業スタート (介護保険事業部を設置、在宅福祉の強化と各種相談事業に着手する)
2機の飛行機がニューヨーク の世界貿易センターに激突 東京ディズニーシー開園	平成13年	2001	須坂市福祉ボランティアセンター開所
北朝鮮拉致被害者のうち 5人が帰国	平成14年	2002	ふれあいのまちづくり事業スタート(4月) 社協のマスコット「こころちゃん」が決まる
地上デジタルテレビジョン放送が東京、大阪、名古屋で放送開始	平成15年	2003	デイサービスセンター「すえひろ」オープン (今後ますます増加する見守りが必要なお年寄りに対して、市内の中心部に設置される 旧名称かめずみ)
JR福知山線脱線事故 日本国際博覧会	平成17年	2005	地域福祉活動計画「助け合い起こし」完成
高校野球 斎藤佑樹(ハンカチ王子) トリノ冬季オリンピック女子フィギュアスケートで荒川静香が日本人選手初の金メダル	平成18年	2006	広報誌「社協すざか→助け合い起こしすざか」に改名される 社協マスコット「こころちゃん」のパートナー「つなぐくん」が決まる (こころとこころをつなぐ 助け合い起こしを広める)
新潟県中越沖地震 コムスン、介護報酬の不当請求	平成19年	2007	第1回助け合い推進大会開催される (旧名称社会福祉大会)
東日本大震災・長野県北部地震	平成23年	2011	須坂市社会福祉協議会50周年



社協情報掲示板

• • • • • あたたかなご厚志に • •
• 感謝いたします。 • • • •

○匿名様

テープカッター他多数

○池田 修様 オムツ多数

○須坂ロータリークラブ様

須坂五岳ロータリークラブ様

テレビ

○商工会議所青年部様

オムツ他多数

○小島老人クラブ様

5,000円

○匿名様 机 他

○湯本 典子様 シーツ他多数

○匿名様 布多數

…5月15日～6月14日 受付分です…

何がの縁か? それとも偶然?

昭和8年3月3日岩手県沖で発生した地震による津波で、甚大な被害をもたらした昭和三陸地震

当事の須坂町(現在穀町)が義援金を送り、岩手県知事より褒状(写真)を受けました。

今回、穀町で区民の皆様に対し、東日本大震災の義援金を募集したところ、四万六千八百円が集り日赤へ寄付をしました。

この数字、どこかで……

褒状の文面に、四百六拾八圓 と記されています。

四 六 八

たまたま穀町で書類の整理をしていましたところに出てきたそうです。



秘密厳守 日常生活の悩み・法律に関する心配ごと相談所 (相談無料)

①日常的な悩み・心配ごとの相談

相談会場	相談日	相談時間
須坂市社会福祉協議会 来所・専用電話相談 248-9977	月曜日～金曜日	午前9時～午後4時 (随時)
すざか女性未来館 (中央公民館)1階相談室	14日(木)と 28日(木)です。	午前9時～12時

②法律に関する相談(無料・完全予約制)

相談会場	相談日	相談時間
すざか女性未来館 (中央公民館)1階相談室	14日(木)と 28日(木)です。	午後1時～4時

*弁護士がご相談に応じます。お一人20分以内です。

*完全予約制 電話 248-9977または245-1619

須坂市第2勤労者研修センターからのお知らせ

行事のご案内

※フラワーアレンジメント

講師 関 好子さん

7/21(木)・9/15(木)

・12/15(木)

※ツボで元気アップ

講師 石田 友さん

8/25・2/16

※スローフィットネス

講師 山崎 優子

11/17

※和紙絵展示会

10/20

詳細につきましてはピアハウス北須坂作業所 248-0180へお問合せください。